

## 第 23 回(平成 25 年度 第 1 回) 暁木会・神戸大学意見交換会 議事録

日 時 : 平成 25 年 6 月 13 日 (木) 18:30~20:30  
場 所 : 神戸大学工学部 (生協食堂・AMEC<sup>3</sup>)

### 【出席者 (敬称略, 順不同)】

暁木会 : 安倍, 伊藤, 久保, 宇都, 中山, 伊賀, 山下, 矢野, 恒藤 (8 名)  
大 学 : 小池, 芥川, 井料, 大石, 川谷, 喜多, 長尾, 藤田, 河井, 鍬田, 小林, 三木,  
宮本, 鈴木, 四辻, 内山 (16 名)

### 【配布資料】

資料 1 : 第 23 回 (平成 25 年度第 1 回) 暁木会・神戸大学意見交換会議事次第  
資料 2 : 暁木会会則

### 【議事】

#### 1. 暁木会会長挨拶

- ・ 第 23 回暁木会・神戸大学意見交換会の開会にあたり, 安倍会長より挨拶がなされた.
- ・ 今年度の暁木会執行部は, 安倍会長以下, 副会長 2 名, 総務・広報・会計 3 名ずつの計 12 名で運営されることが紹介された.
- ・ 会費会員の増強が懸案事項であり, 引き続き教室への協力要請がなされた. 会費会員になることが当然という文化を作って行きたいという意気込みが表明された.

#### 2. 市民工学専攻長挨拶

- ・ 第 23 回暁木会・神戸大学意見交換会の開会にあたり, 小池専攻長より挨拶がなされた.
- ・ OB 会である暁木会には, 市民工学科・専攻の教育活動・教育環境の充実に対して日頃から多大なる貢献をいただいていることに対し, 改めて感謝の意が表明された.
- ・ 教室としても会費会員の増強に努力しており, 特に同窓会の意義を学生が理解するよう努めている.

#### 3. 学術振興基金助成金の贈呈

- ・ 暁木会より市民工学教室へ学術振興基金助成金が贈呈された.

#### 4. 乾杯

- ・ 伊藤副会長の挨拶ののち, 乾杯が行われた.

#### 5. 自己紹介



写真 1：安倍会長より小池専攻長への助成金の贈呈

## 6. 暁木会からの報告

### (1) 平成 24 年度総会報告

- 3/26 に楠公会館にて実施され、合計 178 名が出席した。
- 受付の混雑により開始時間が若干遅れた。H25 年度は受付を 2 班体制にする予定。
- 学生には時間に余裕を持って集合すること、会場でのマナーを遵守するなどの指導を行うことが教室に要請された。
- 優秀学生表彰:優秀発表者をこれまでの4名から2名に減らしたことにより、表彰の価値が高まったとの評価があることが紹介された。
- 新会員紹介：H24 は就職する学生のみ自己紹介した。会場にて配布した新会員名簿に就職先を記載した点が OB に好評であった。
- 総会の実施時間が長い：新会員の紹介は名前と就職先のみにする、各人の割り当て時間について周知を徹底し、さらなるコンパクト化をはかる。
- H25 年度は、2014 年 3 月 25 日に実施予定。H24 年度と同様に、今年度も教室での学位授与式の際に暁木会紹介の時間をいただきたいとの要望が出された。
- 測量機器の購入の報告があった点が役員会において好評であった。

### (2) 年間行事予定

- 6/8 東京支部総会、7/19 広島支部（川谷教授）、9/11 東海支部（喜多教授）、岡山支部は実施日未定。

### (3) 会費会員増強方策について

- 現時点での会費登録会員数は 1,123 名。5/9 付新規入会は 8 名。H25 年 2 月の引き落としは 1,095 名。
- 若手会員に対し、会長名で依頼文と登録用紙を郵送する、職域単位での勧誘

を継続するなどして新規会費会員の増強を図る。

- 大学院生の会費免除について明確にしてほしいという大学からの要望に対して公式見解が示された。すなわち、会則 2-4 によれば正会員は学部の卒業生、準会員は大学院在籍生、附則第 1 条によれば準会員、特別会員は会費を要しないと記載されているが、学部卒の大学院生の取り扱いについては必ずしも明確ではない。これに対し、当該学生は正会員であり、会則上は大学院在籍中であっても会費納入義務が生じるが、実運用としては大学院生からは会費を徴収していない。これは内規として引き継がれている。
- 教室としての新規会費会員資格を有する在学生に対する対応案として、在学生であれば会費の引き落としが留保されることが明確となったので、在学生には会費会員登録を行うよう引き続き encourage する方針が示された。
- 内規を適切に運用するためには、新規会費会員登録した在学生について適宜教室と暁木会とで情報交換を行い、配慮することが確認された。
- 卒業後、就職に伴い銀行口座が変更される可能性がある学生に対しては、講座変更届を出すように指導する。

#### (4) 暁木会ニュース No.25

- 暁木会ニュース No.25 の発刊は 9/1 を予定。原稿の締め切りは 7/20 頃。
- 研究報告（内山教学委員が調整）、現役学生生活紹介（就職活動レポート：内山教学委員が調整）、現場見学会報告（大石教授が調整）の 3 件が教室に依頼され、了承された。各記事は 2 ページ程度を目安とする。
- 海外で活躍する OB・OG に記事執筆を依頼してはどうかという意見が出され、前向きに検討することが確認された。
- 現在、大学では専攻掲示板に最新の暁木会ニュースを掲示しているが、PDF ファイル（あるいはそこへのリンク）を学生に一斉配信することが提案された。

#### (5) 16 期生学生回顧録の寄付

- 同書 1 部を大学図書館に寄付する。
- 終戦前後の神戸大土木教室の状況を書き記した貴重な資料であるので、多くの人の目に触れるようにしたい。
- PDF 化して Web 掲載：著作権的に難しい。原則的に全員の許可が必要（故人であれば親族の許可が必要）。これに対し、同意が取れる人の文章を順次部分的に Web 掲載する案が示された。

### 7. 市民工学教室からの報告

#### (1) プロジェクトマネジメント担当教員の交代について

- 加藤准教授から河井准教授に交代。

#### (2) 暁木会ニュース原稿投稿依頼に対する対応

- 5/21 役員会で内々に依頼された見学会報告については既に着手済みであり、今回の意見交換会で示された新しい依頼事項に対しても協力する。

#### (3) 5 月集計の会費会員について

- 在籍中の院生については、会費の引き落とし時期を考慮し、11 月以降に会費会員登録するように指導する。また、引き続き会員増強のために協力を惜しまない。

## 8. その他：現場見学会について

- ▶ 安倍会長より学生を現場に連れていく授業はどれくらいあるのかとの質問に対し、教室側は市民工学概論（1年前期）で3回、1年後期で1回（数年来兵庫県のお世話になっている）が主で、その他各講義で適宜実施しているが、近年その頻度は増加傾向にはないことが紹介された。
- ▶ 安倍会長、伊藤副会長：1年生ではなく、3年、4年生くらいで現場に行ったほうが良いのではないかと。専門教育を受けた上で現場を見ることも重要であり、特に土木分野へ就職する学生はより積極的に現場見学に参加するべきである。プロジェクトマネジメントでは現場見学を組み込むことはカリキュラム的に困難。座学の講義にもっと見学会を組み込むようにしてはどうか。
- ▶ 藤田教授：上下水工学では講義の時間を調整して（センター入試実施日等を利用）見学会をセットしているが、講義回数制限がある。
- ▶ 大石教授：市民工学倫理で課している3つの課題のうちの一つを、現場見学を要するものを指定するなどの工夫が考えられる。
- ▶ 安倍会長：今後の土木業界を俯瞰すると、維持管理の現場見学が重要になるのではないかと。

## 9. 閉会

### 【今後の予定】

平成25年10月10日（木）18:30～

第24回（H25年度第2回）意見交換会

場所：神戸大学工学部生協食堂AMEC<sup>3</sup>

平成26年1月16日（木）19:00～

第25回（H25年度第3回）意見交換会



写真2：意見交換会の様子。活発な議論が行われました。